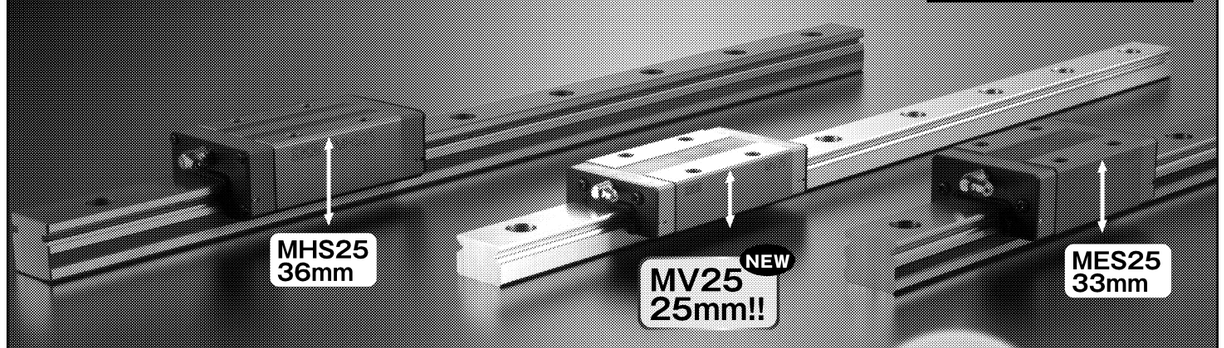
超低断面直動案内機器
新登場!!
Cループリニアウェイ V
MV



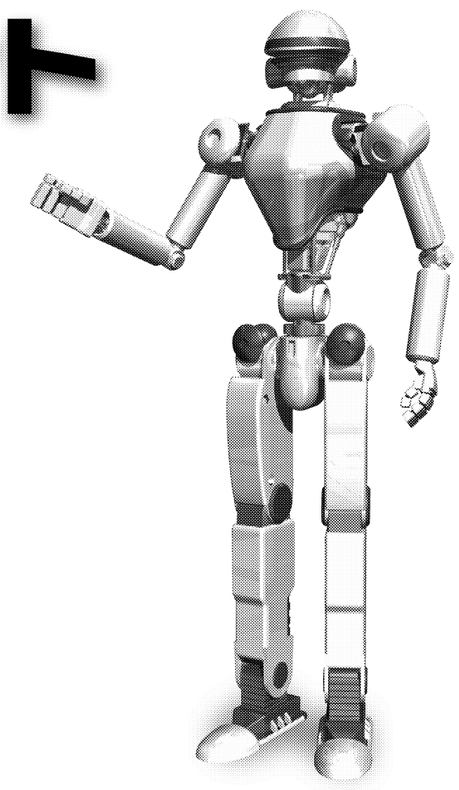
ボールタイプで下方向定格荷重が最大

製品特長
低断面
機械装置のコンパクト化に貢献
軽量
機械装置の動力削減に貢献
高負荷容量
機械装置の長寿命化や安全率が向上

MVは、スライドユニットおよびトラックレールを低断面にすることによって、他に類例のない超軽量、超低断面を実現した直動案内機器です。さらにボールタイプの直動案内機器では、下方向の定格荷重が最大で、またスライドユニットの鋼球循環路に、当社独自の潤滑部品「Cループ」を内蔵しており、長期メンテナンスフリーも実現しています。

2013国際ロボット展　ご来場お待ちしております。　小間番号:IR2-39
IKO Innovation, Know-how & Originality　日本トムソン　http://www.ikont.co.jp/

FA&ロボット
メカトロニクス専門商社として産業界のあらゆるニーズに対応します。



メカトロニクス技術商社
ダイドー株式会社
本　社／名古屋市中村区名駅南4-12-19　TEL 052-533-6710　FAX 052-533-6715
東京支店／東京都江戸川区西瑞江2-22-4　TEL 03-3676-9111　FAX 03-3676-9119
大阪支社／大阪市西区安治川1-2-8　TEL 06-6581-1161　FAX 06-6581-8008

全国に広がるダイドー・サービス・ネットワーク。お客様のニーズにクイックレスポンス。
〈名古屋本部〉豊橋・土岐・各務原
〈中部本部〉三河・静岡・浜松・金沢・諏訪・小牧・岐阜
〈東日本本部〉札幌・東北・郡山・北関東・新潟・上田・宇都宮・水戸・埼玉・八王子・横浜・厚木
〈西日本本部〉京都・滋賀・東大阪・池田・岡山・福山・広島・四国・福岡・熊本

www.daido-net.co.jp

2013国際ロボット展 見どころ

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2013

2013国際ロボット展は2年に一度開催される世界最大規模のロボット展示会で、今回で20回目を迎える。過去最大規模での開催となるが、特に産業用ロボットメーカーによる大規模展示が目立つ。またロボットの国際会議「IROS」と併催して行われるスポンサー企業の合同展示も注目される。ここでは展示会の見どころについて紹介する。

産業ロボ 規模拡大

「サミット」にも注目

産業用ロボットゾーンの規模が拡大した背景として、産業用ロボットが自動車や電子機器をはじめ、食品や医薬品、化粧品など幅広い分野で導入され、小型化と機能を特化したロボットが開発されていることが挙げられる。出展者にとっては日本の製造業を支えるために産業用ロボットが必要不可欠であるとアピールする良い機会と考えている。さらに、産業ロボット以外で最新の介護ロボット、災害対応ロボットなどのサービスロボットも数多く展示される。

展示会場以外に併催事業も多彩な内容となっている。

併催企画は大学や研究機関による最新のロボット技術と製品を展示・実演する「RT（ロボットテクノロジー）交流プラザ」のほか、経済産業省と日本機械工業連合会が実施している「第5回ロボット大賞」で受賞したロボットの展示・実演を行い、国内の優れたロボット技術と製品を見ることができる。また数秒で複雑な迷路を走り抜ける速さと知能を併せ持った小型ロボット「マイクロマウス」の制御技術を紹介するコーナーも用意している。

シンポジウム&フォーラムでは、6日13時半からの特別講演（ロボットビジネス推進協議会主催）で山本芳春本田技術研究所社長／ロボットビジネス推進協議会会長が「喜びと楽しさが広がる未来へ～ロボット技術に託す夢」をテーマに、人々の生活を豊かにするロボット技術への挑戦について、研究事例を交えて紹介する。

また同日15時からの「ロボットサミット」では川崎重工業、ファナック、不二越、安川電機、ABB、KUKA Robotorの主要ロボットメーカー6社と日産自動車、フォックスコンテクノロジーグループのユーザーが顔を合わせる。ロボット活用の未来に関する情報を入手できる場として注目される。

8日13時からの「インターナショナルロボットハイスクール2013」（日本ロボット学会主催）では各校におけるロボットを用いた教育やロボット工学教育についての実践状況、小中学生、高校生によるロボットコンテスト「WROJapan」などロボット競技イベントへの参加による教育の推進について紹介する。

このほか、ロボット関連セミナーをはじめ、安川電機や不二越、ダイヘンなど出展企業によるワークショップを多数行い、ロボットの最新技術と情報を発信する。

産業用からサービス用まで最新のロボットを展示

有力企業の製品・技術〈順不同〉

安川電機

安川電機はロボットに対するユーザーニーズの多様化、モノづくりのグローバル化に応えるロボットソリューションを紹介する。

新型ロボットは「高効率」「高密度配置」をコンセプトに開発。スポット溶接最適化ロボット「MOTOMAN－MS210」は動作範囲を拡大し、干渉回避も可能にする。アーク溶接最適化ロボット「MOTOMAN－MA1440」は溶接品質を向上させるために可搬質量を強化したほか、干渉の少ないアームデザインの採用、動作速度のアップを図った。

さらに新型ロボットコントローラー「DX200」はロボットの動作領域と動作速度を任意に制限することが可能な機能安全と、安全回路の省配線化に寄与する安全フィールドバス通信により、「ロボットと人がエリアを共有する安全」を実現する。

日本トムソン

日本トムソンはニードルベアリング、直動案内機器や精密位置決めテーブルを手がける総合軸受メーカー。同社はますます軽量化・少スペース化が要求される産業用ロボットなどにおいて、他に類例のない超軽量、超低断面な直動案内機器「Cループリニアウェイ V MV」を提案する。

MVは従来の直動案内機器と比べてスライドユニットやトラックレールを低断面化した軽量な直動案内機器。さらに下方向の定格荷重が同社ボールタイプ直動案内機器の中では最大で、高い負荷能力を実現。またスライドユニットに独自の潤滑部品「Cループ」を内蔵していることで、長期メンテナンスフリーも実現している。

MVは工作機械から一般産業機械におけるさまざまな機械・装置の位置決め機構において、その高い能力を発揮する。

株式会社ダイヘン　メカトロ事業部　〒658-0033　神戸市東灘区向洋町西4丁目1番 TEL(078)275-2008　FAX(078)845-8158 URL http://www.daihen.co.jp/yosetsu/　E-mail welding@daihen.co.jp